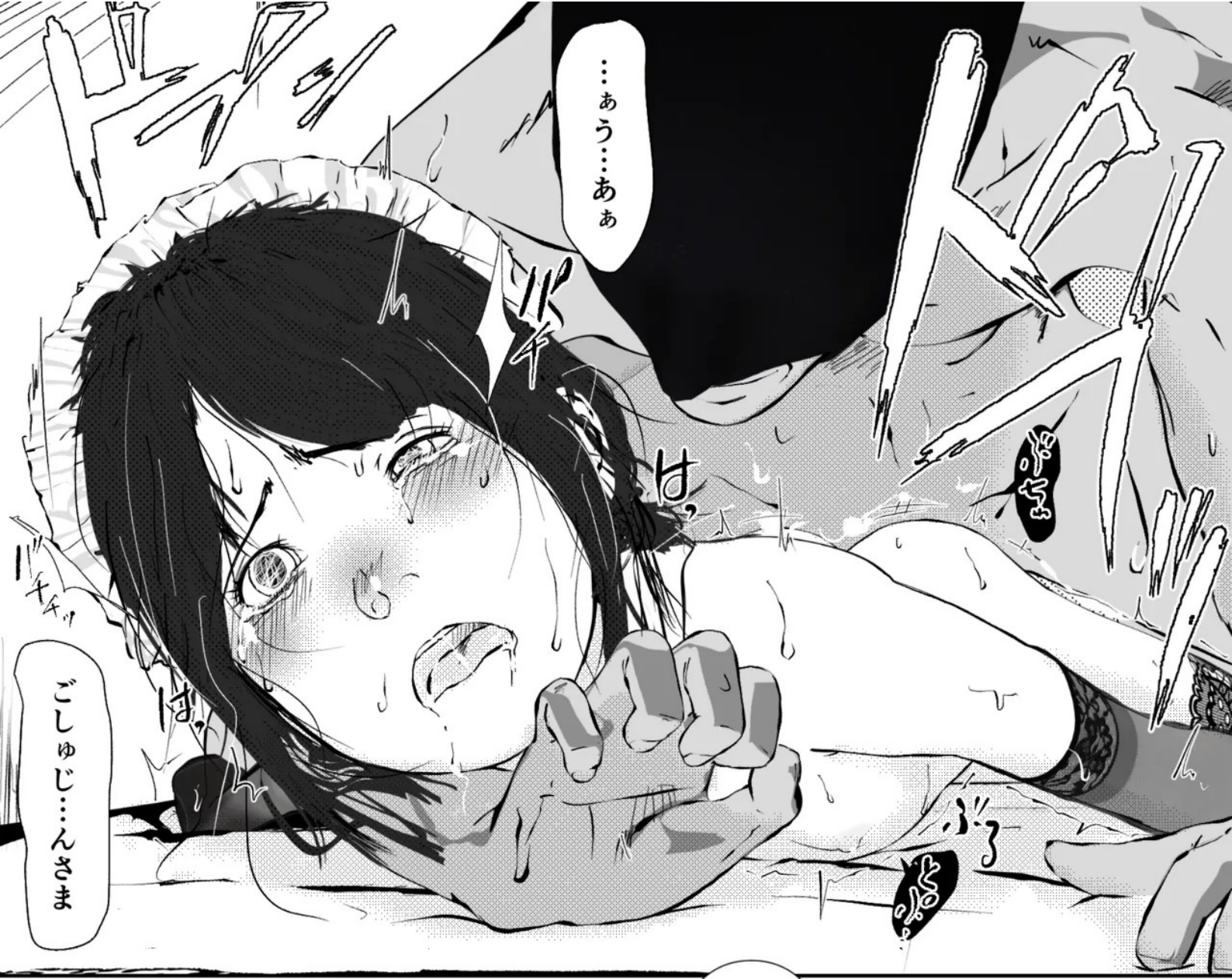


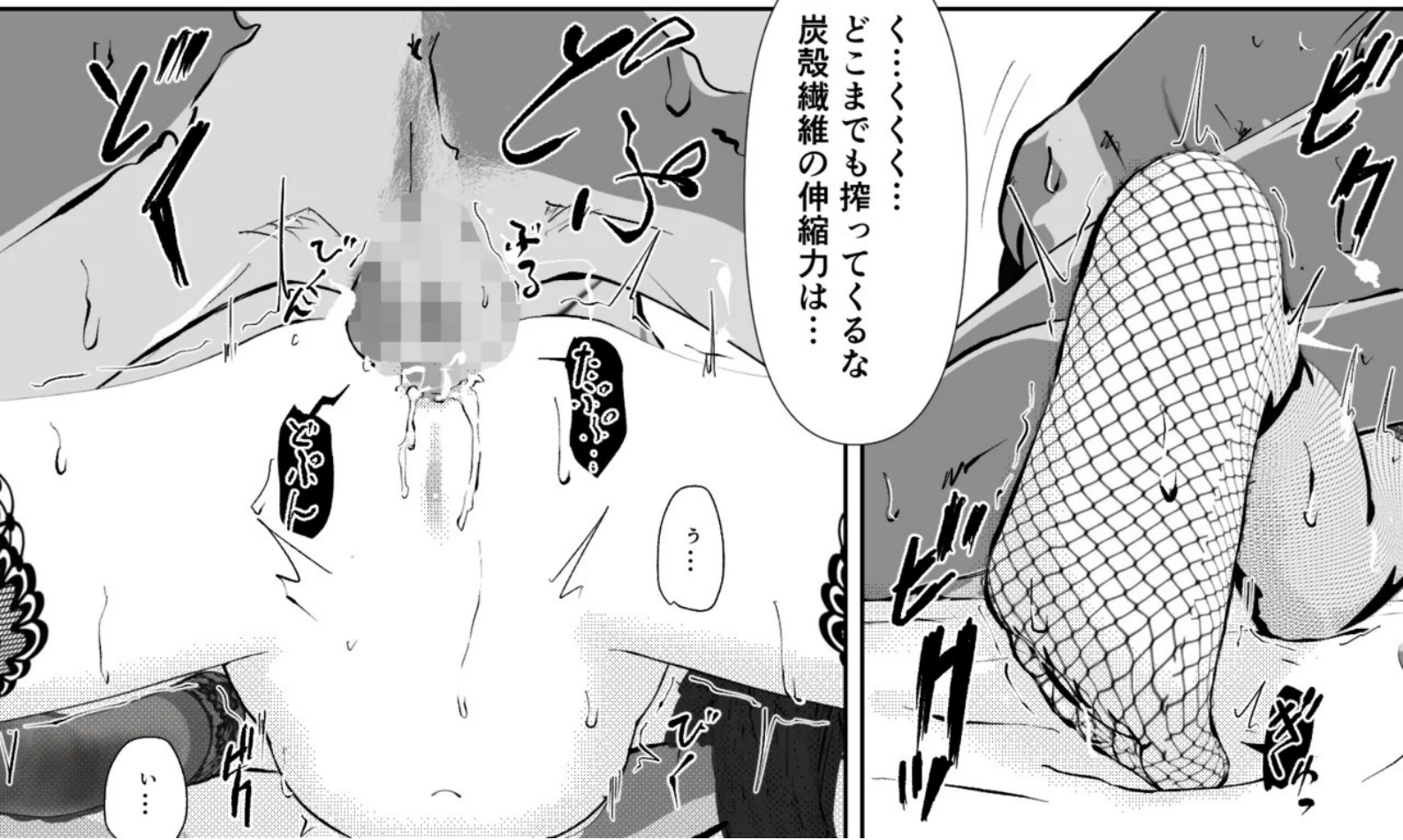
中で出すぞ

準備しろ



あう...ああ

ごしゅじ...んちま



く...くくく...  
どこまでも搾ってくるな  
炭殻繊維の伸縮力は...

う...





よし...と  
動くなよ

スツ

ブーン

ギョ



OS初期化...

再起動開始



ズン

ズン

パキパキ

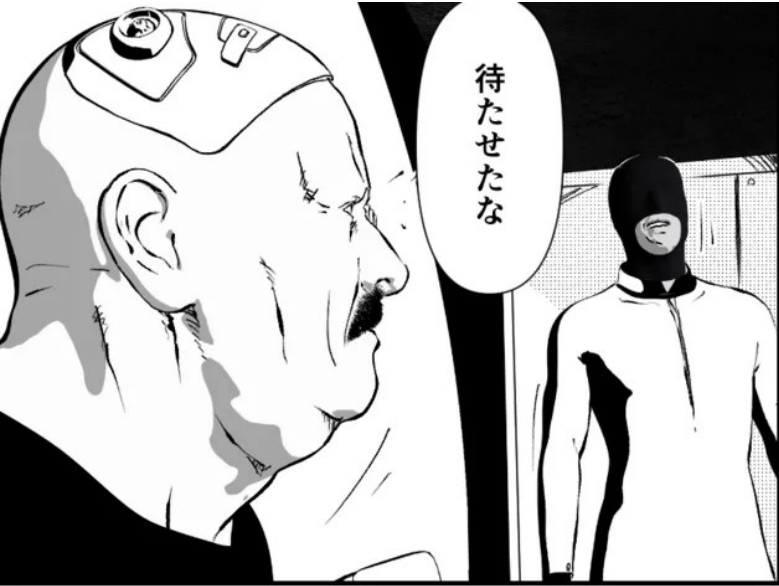
ギョ

ギョ



メイドの仕事だ  
コハル



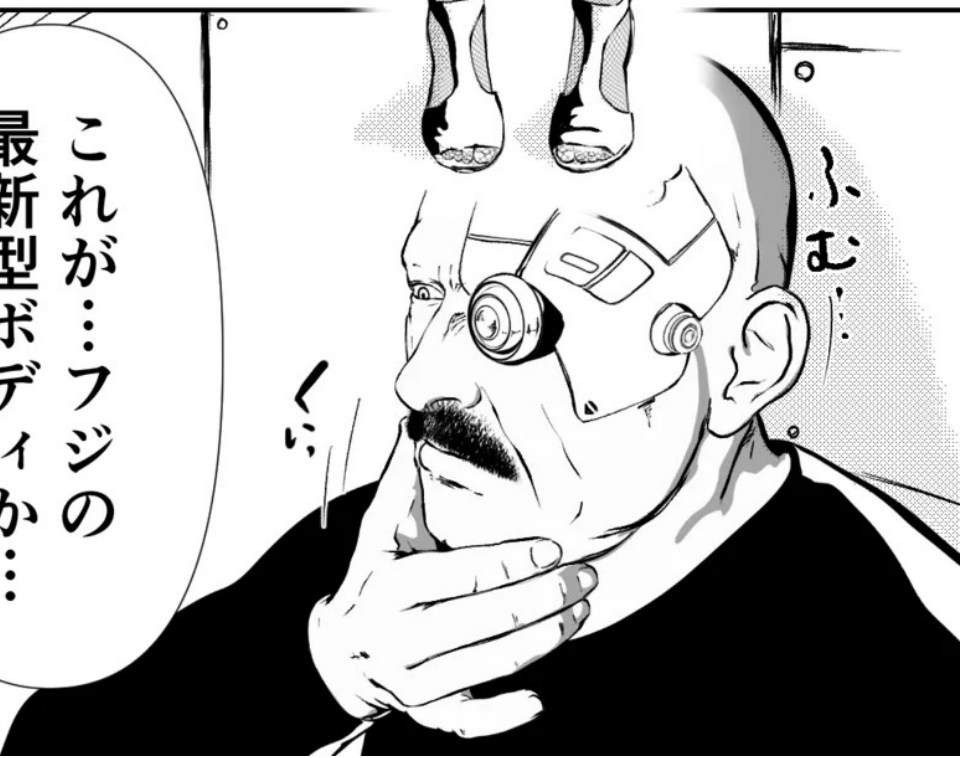


24世紀現在—  
人類にとって『死』とは  
遥かに遠い概念となった

アンドロイド技術の伸展  
多能性幹細胞技術の効率化による  
身体強化・機能改善・機能回復

最後の障壁であった  
脳機能幹細胞技術の確立、  
グラフェン半導体による  
脳機能拡張

飛躍的に寿命は伸び  
加えてアンドロイドの増加により  
あらゆる労働からの解放が達成され  
文明維持に人口増は必須ではない



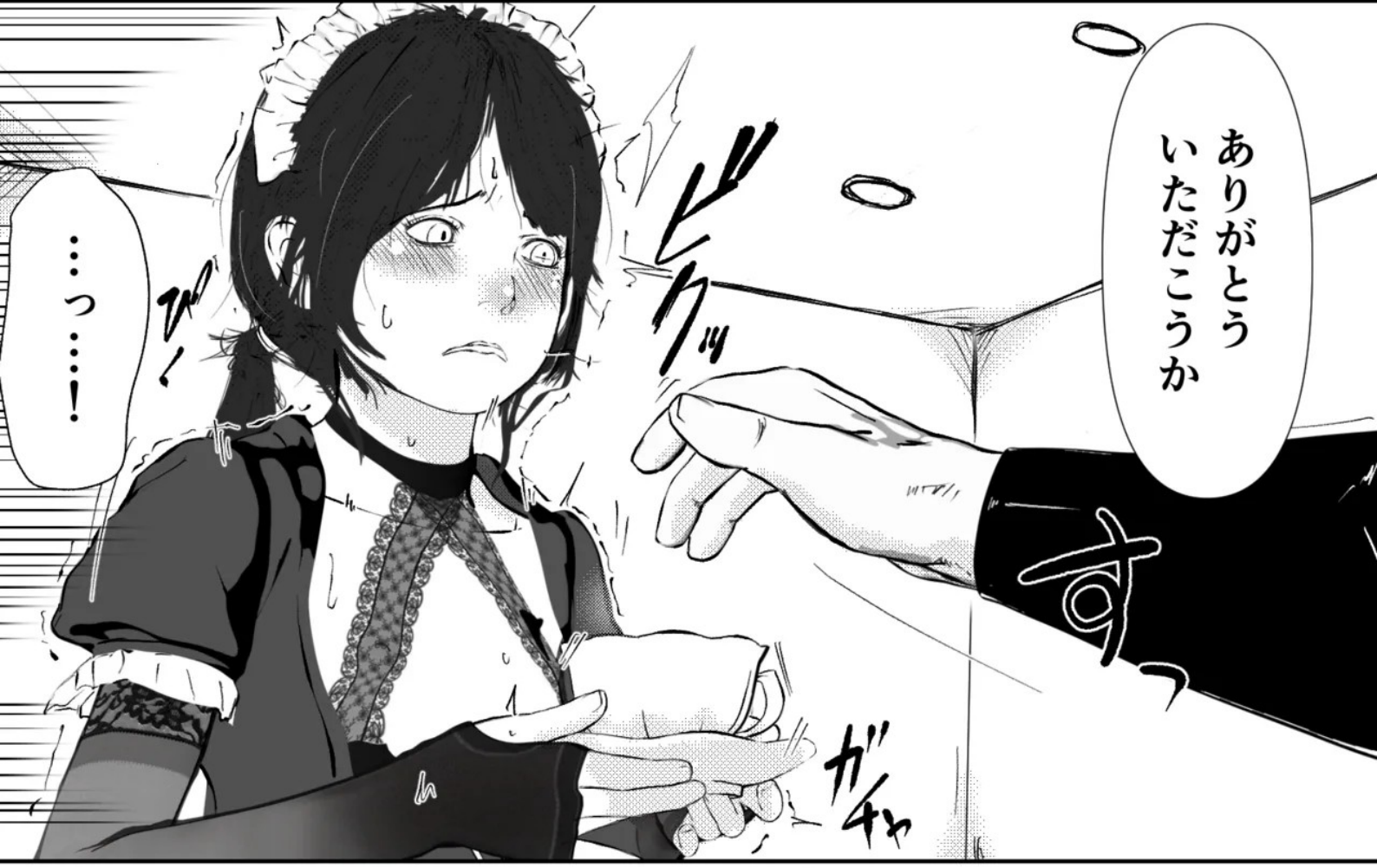


これは…  
かなりのデキだな

さすがリヴィドル  
デザインだ

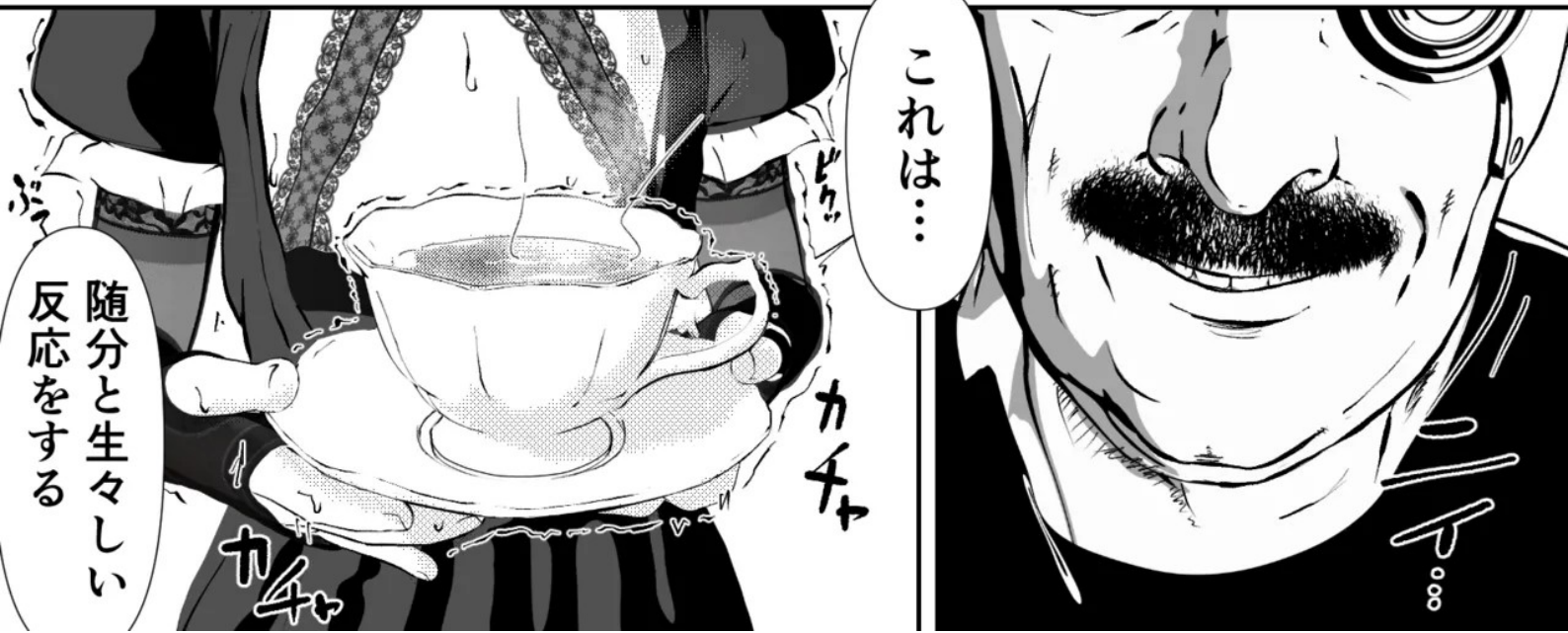
どうぞ

※いわゆる央華公司素体デザイナーリヴィドル三世によるデザイン



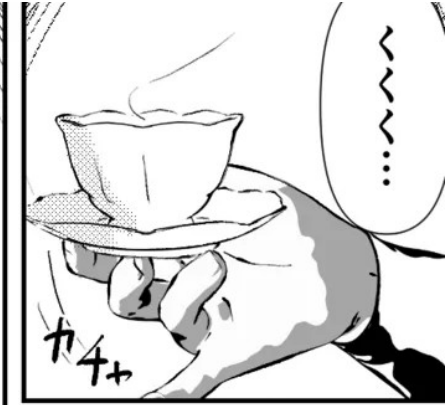
ありがとう  
いただくようか

…っ…!



これは…

随分と生々しい  
反応をする



だがこの生々しい反応…

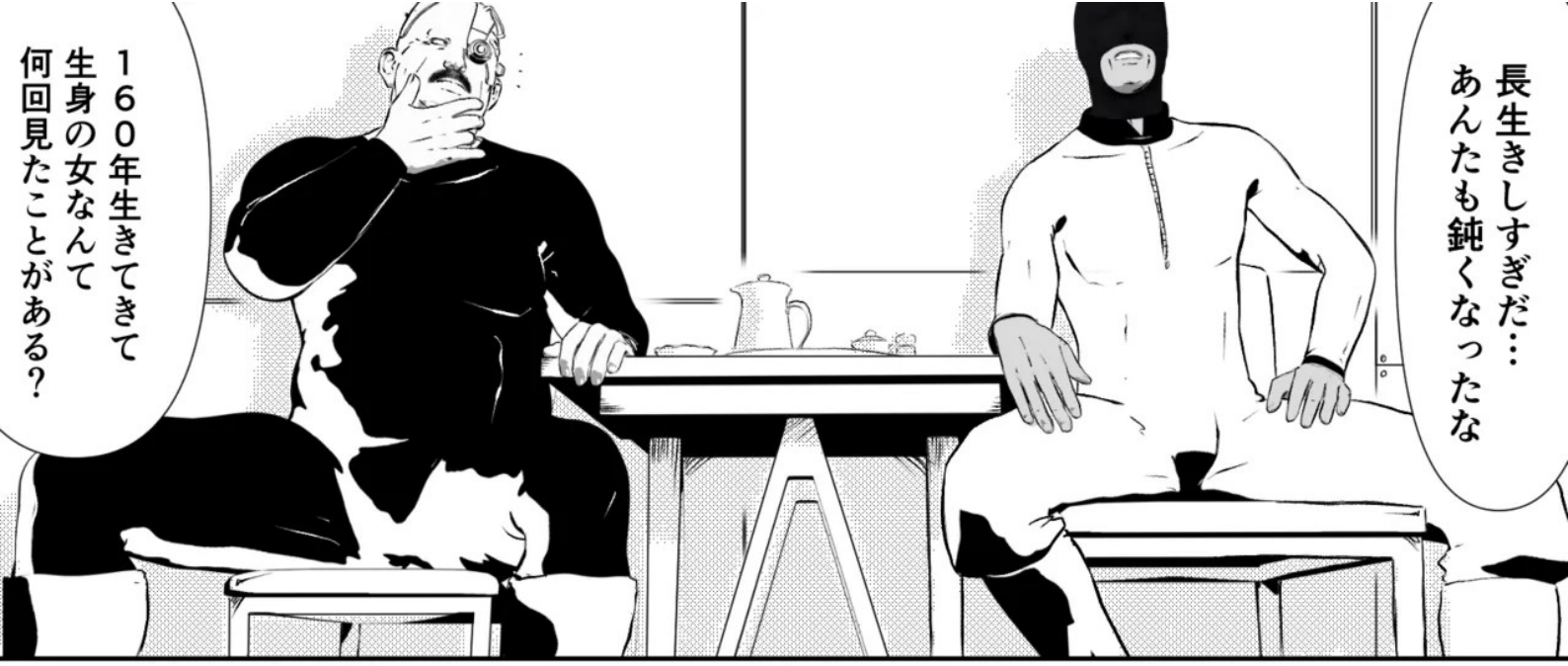
どれだけAIが進化しても  
所詮はプログラム…



まるで…  
人間じゃないか

長生きしすぎだ…  
あんたも鈍くなったな

160年生きてきて  
生身の女なんて  
何回見たことがある？



ふん…  
バカにしおって  
2250年ころまでは

たまに生身の女を  
みかけたもんだ…

童貞では  
ないからな



そういうことだ…

はい

コハル



お客様に  
お見せしろ



すすり



すすり

すすり



フジエレクトロン山梨製造所  
製造日2324年12月13日：  
KH-11a 牛型



個体識別番号  
kh98-23241213Lo0  
……やうな感じです



ほほう…



『転写人格』



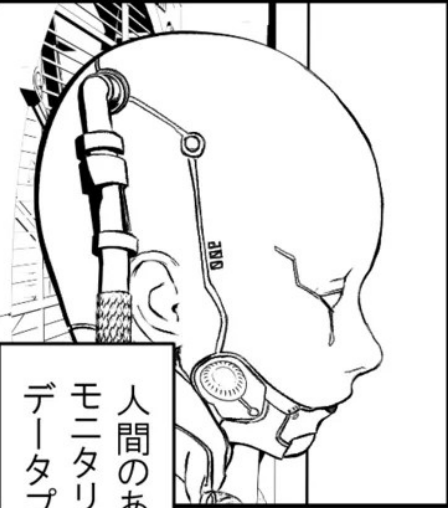
となると…

研究初期段階の転写人格



自らの人格を転写した  
イワー・テ・ホック博士(51)

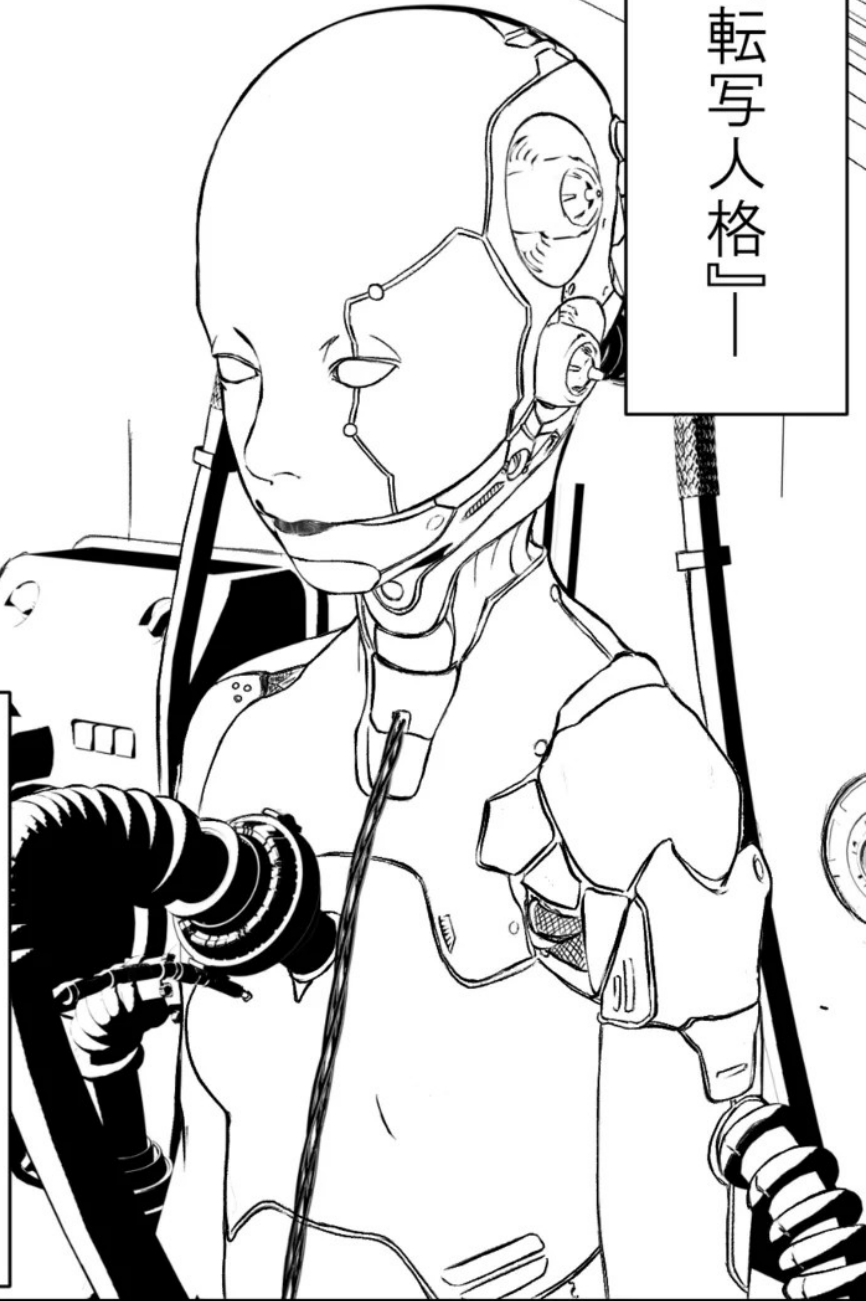
『転写人格』



人間のあらゆる脳活動を  
モニタリングした後  
データプロトコルとして再現



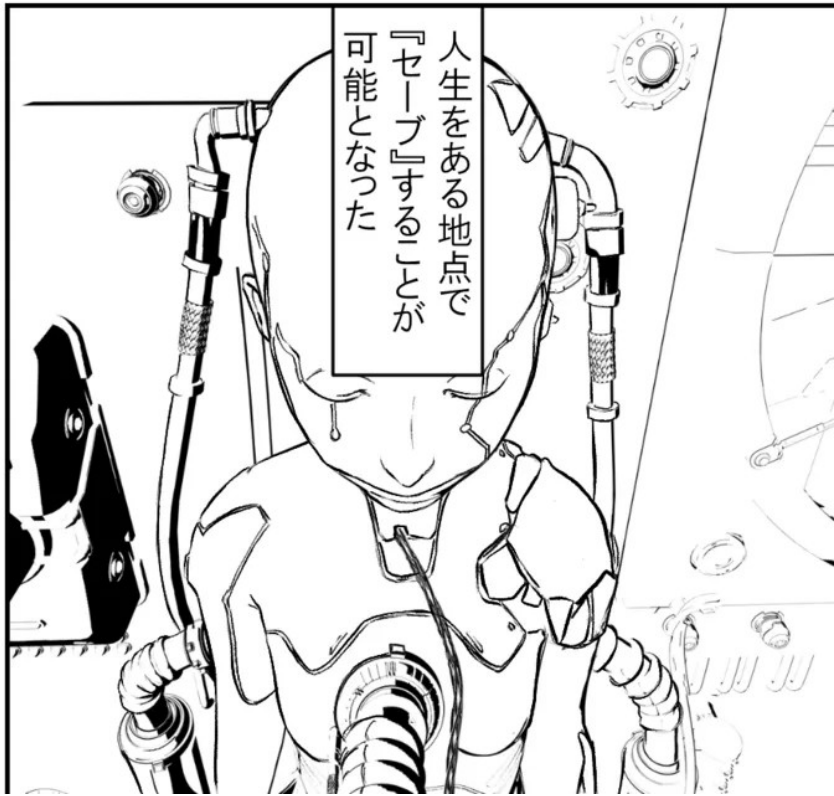
22世紀に現れた不世出の鬼才  
イワー・テ・ホック博士によって  
確立された先端技術プロトコル



人生をある地点で  
『セーブ』することが  
可能となった

研究は一定の成果を得た一方  
倫理的問題を残したままだった

課題を解決できないまま  
国連人権委員会により  
一切の研究は差し止められた





ふむ：  
本当なのかね

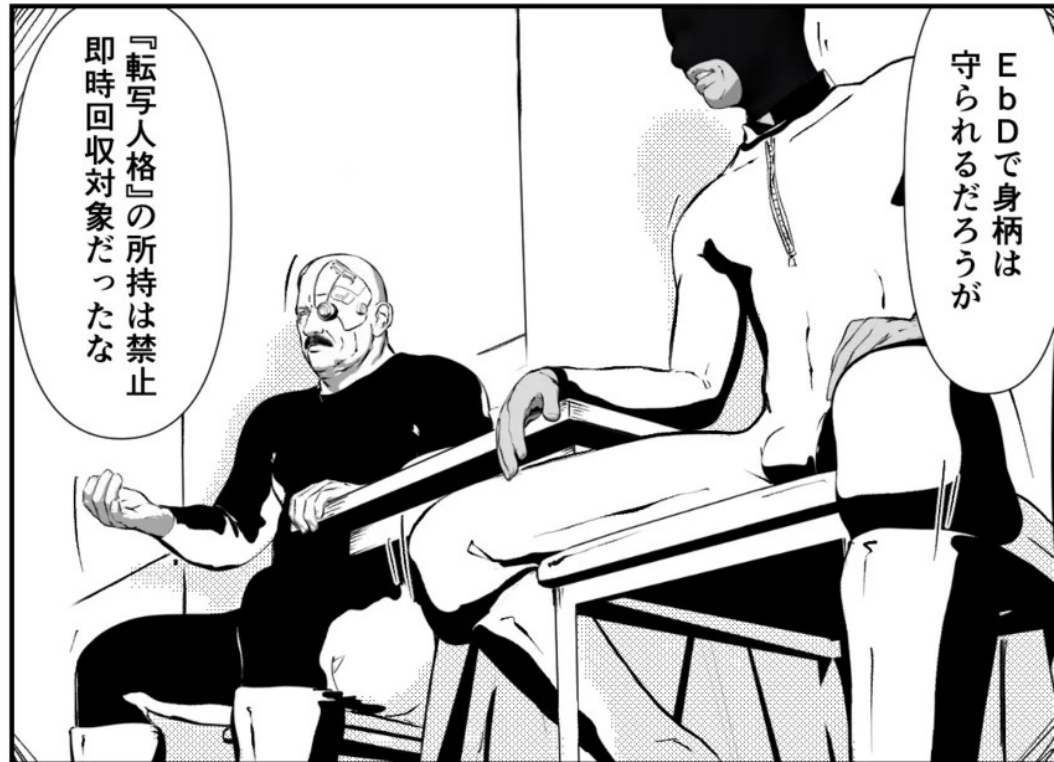
キニイ  
イ



知ってて  
来やがったな



ご……ご主人様……



『転写人格』の所持は禁止  
即時回収対象だったな

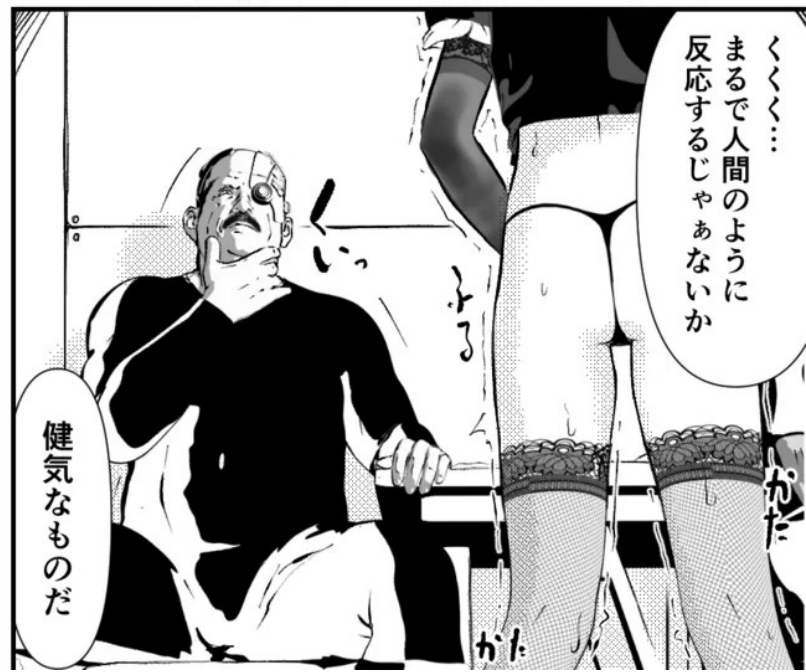
EbDで身柄は  
守られるだろうが

※EbD…Ethics behind the Door条項、私的空間での倫理観は全て制約を受けない



何が目的だ……

ふん、それが狙いなら  
通報するだけで済む話だ



健気なものだ

くくく……  
まるで人間のように  
反応するじゃあないか

金か：情報か  
それとも：

『本』…か

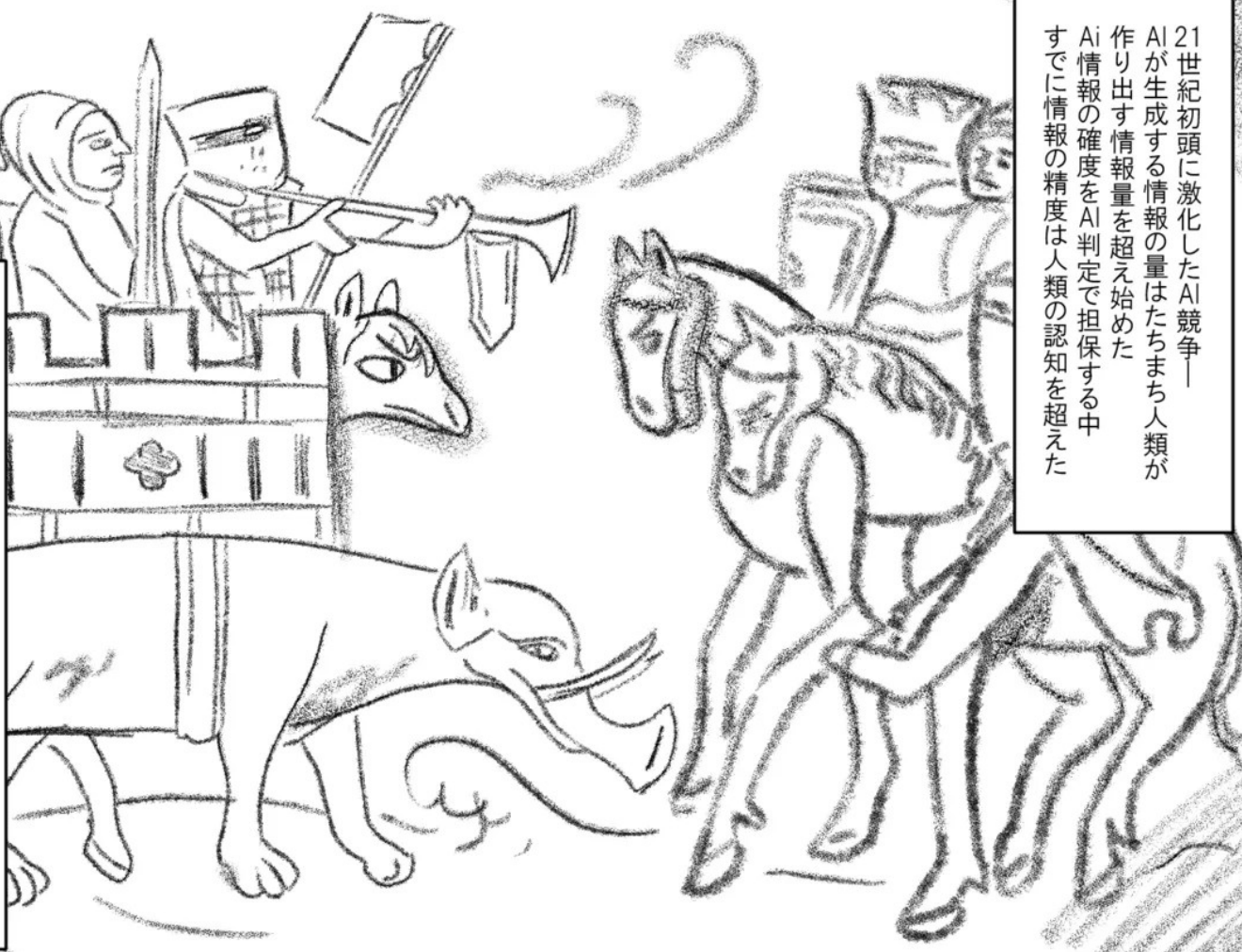
24世紀現在—  
20世紀以前の印刷による  
『本』は新たな価値を得る

情報の価値が逆転した世界



21世紀初頭に激化したAI競争—  
AIが生成する情報の量はたちまち人類が  
作り出す情報量を超え始めた  
AI情報の確度をAI判定で担保する中  
すでに情報の精度は人類の認知を超えた

21世紀末には国連情報総合局局長  
ウーロン・ノエル局長は敗北宣言ともいえる  
『AI生成情報精度担保放棄の決議案』が採択  
電子的情報の価値は暴落し印刷期日の確定されている  
紙媒体—『本』が価値を持ち始め24世紀現在に至る



悪くない提案だな：  
「アツ●ル通信」の原書があったな

魅力的だが：

ワシにも  
試させてもらえんかな

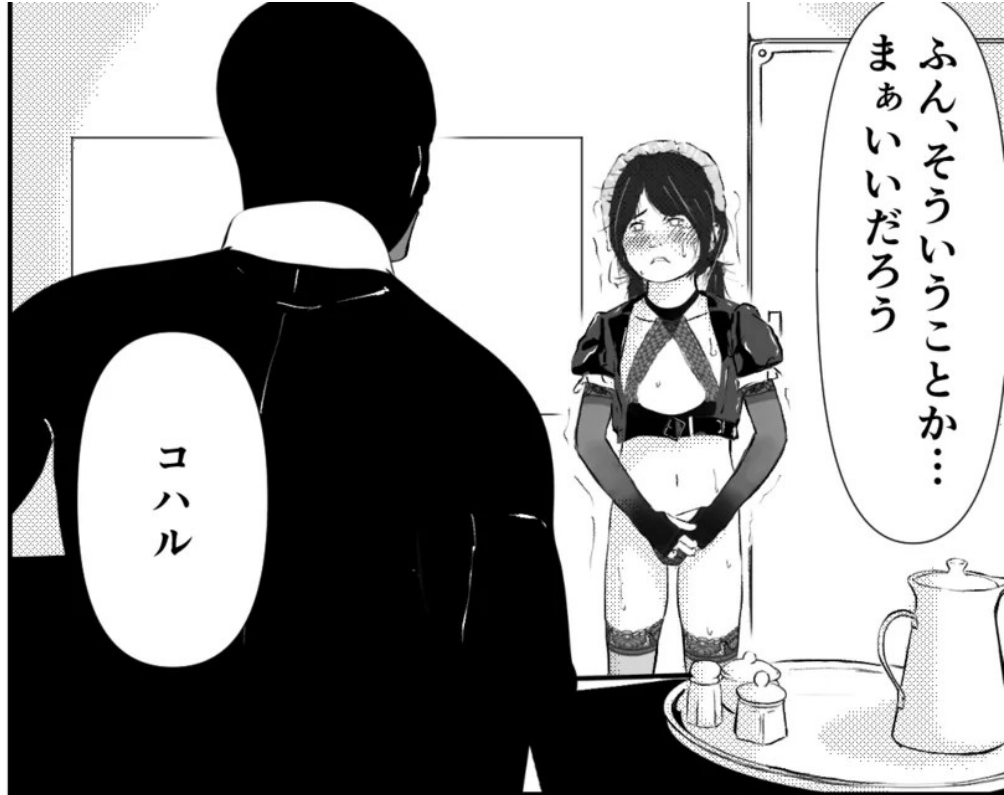
最新型を





は…はい

お客様をおもてなししろ



コハル

ふん、そういうことか…  
まあいいだろう



コハル



す…  
して…まいます

で…では  
お部屋の準備を…



ニヤヤア



え…

こちらで…  
どうします…か



ここでだ…

今から始めろ



若いモンは  
いかなんア

話はわかるが  
せっかちでいかん



お客様は元々その  
つもりだったようだ

早ければ  
早い方が...



ところで君は

このままいるつもりかね



ニヤ...



まあい...

あ...

よろしく頼むよ  
コハルとやら...



そうかね...

このデータ  
マニアが...

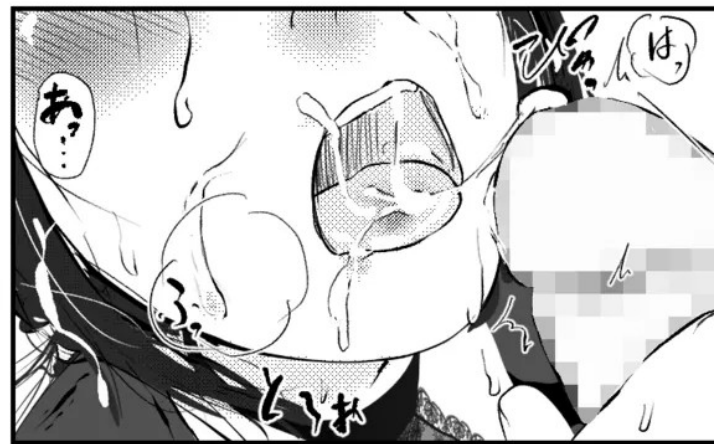


当然だ...  
キョーミ深い

不規則データが  
取れるかもしれん









Bだけかね

Bだけだ



Bポート…  
のみでござい…ます

お…お使い  
いただけますのは



どれ…下のポートは  
どうなっておるか

※Bポート…下肢後部接続ポート



では…

どうぞ…  
お容…ろも…



ご準…備させて  
いただきます



す…

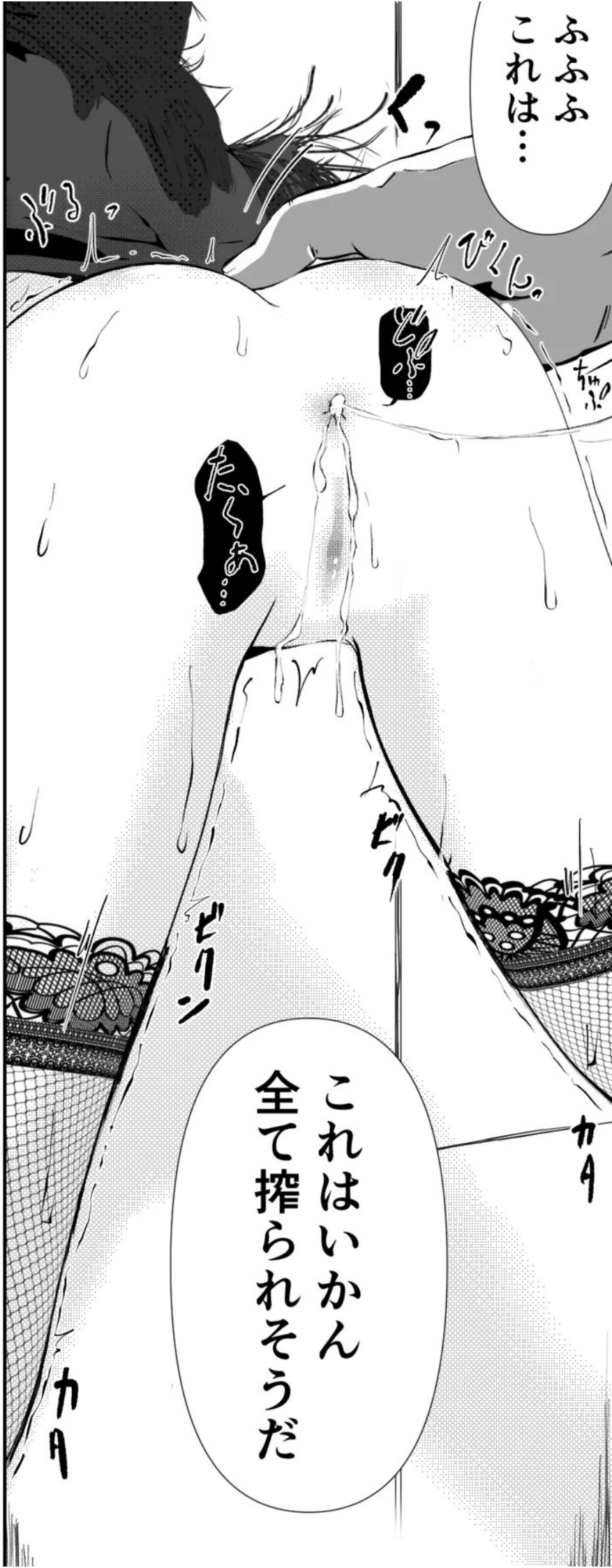


止ま...らんないア  
これは...  
止まらん...よ



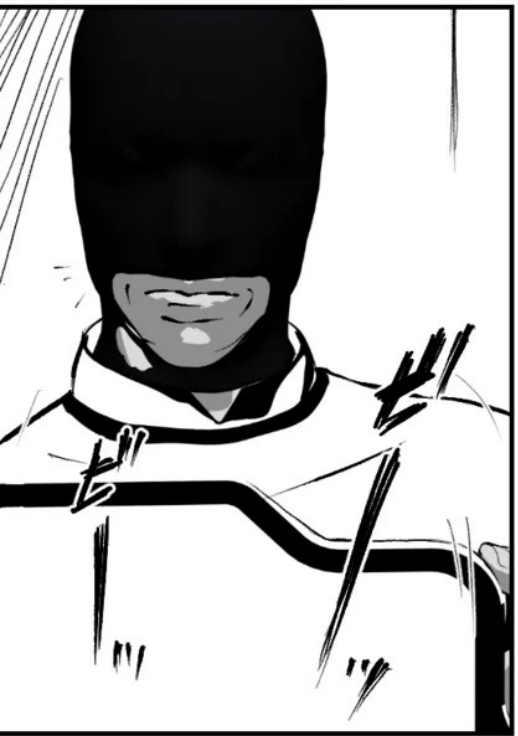
ふ...ふふ  
これ...が最新型か

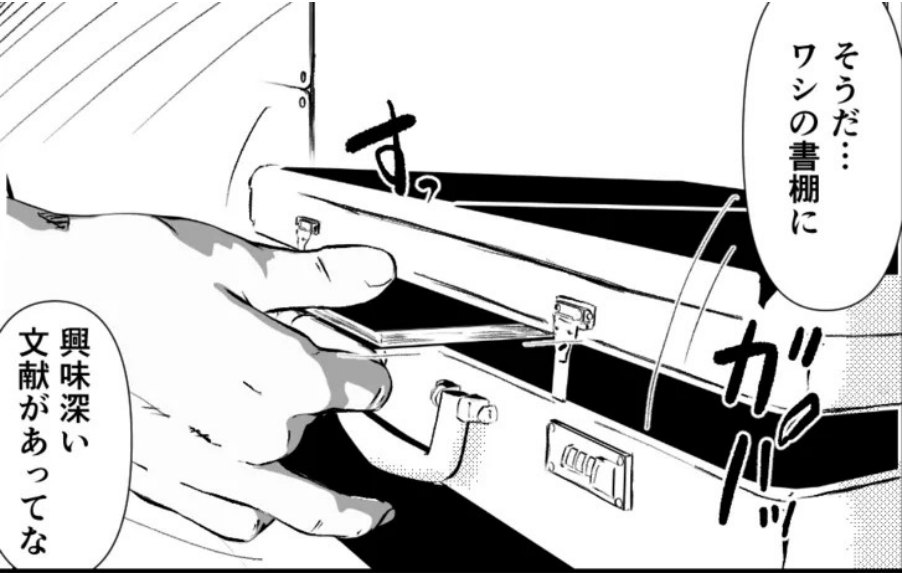




ふふふ  
これは...

これはいかん  
全て搾られそうだ





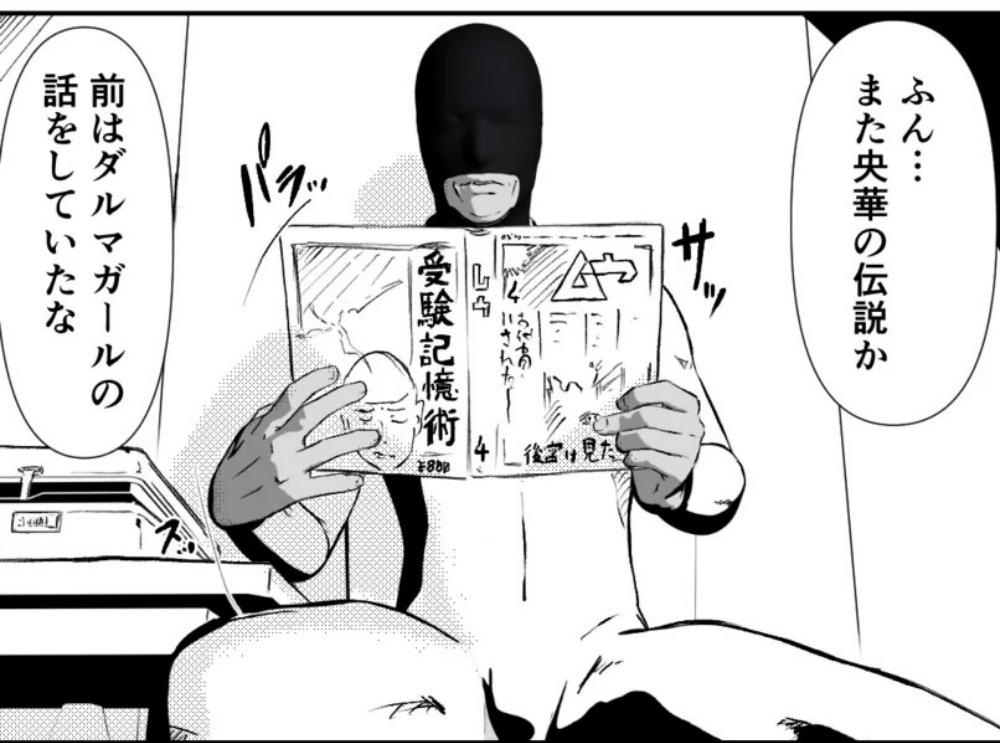
そうだ…  
ワシの書棚に

興味深い  
文献があつてな



ふう…どうかね  
データ採取は

悪くないな

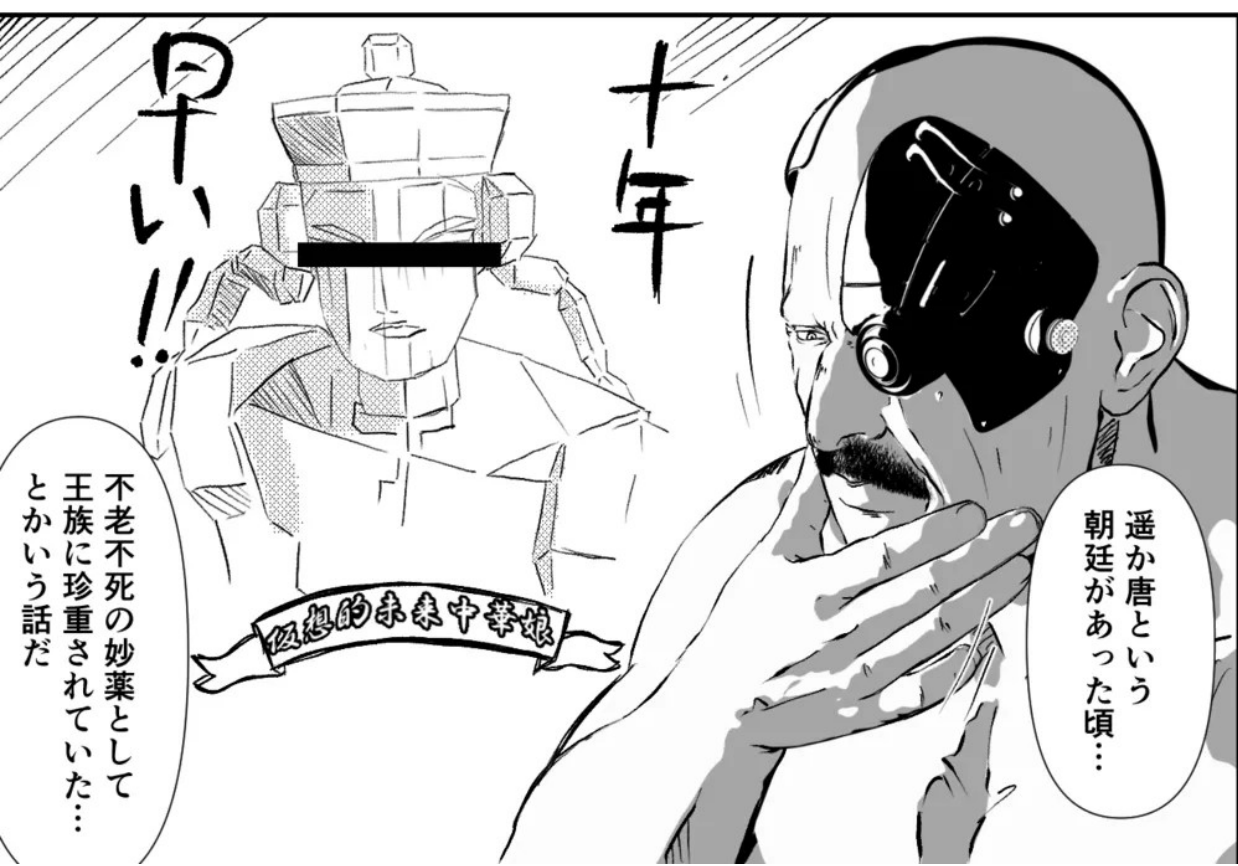


ふん…  
また央華の伝説か

前はダルマガールの  
話をしていたな



央華の歴史的  
事実に関する記述だ



遙か唐という  
朝廷があつた頃…

不老不死の妙薬として  
王族に珍重されていた…  
とかいう話だ

『桃娘(タオニャン)』



桃娘を楽しめる  
かもしれん

体液循環システムの  
流路をイジれば

あう…

君のメイドは精巧に  
人体構造を再現しているな…



ほう…  
できるのか



年の功よ

そして贅沢に  
炭殻繊維を使用している



あ…



これで、よし…



カチヤ

来る前にカタログ  
読み込んだ  
甲斐があったわ

ふふふ…  
ここをこうかな

あ…



よろしよ…



ほう…  
できたのか



ふむ…

うむ…  
もっと道具が揃っておれば  
うまく仕上げられたがな

は

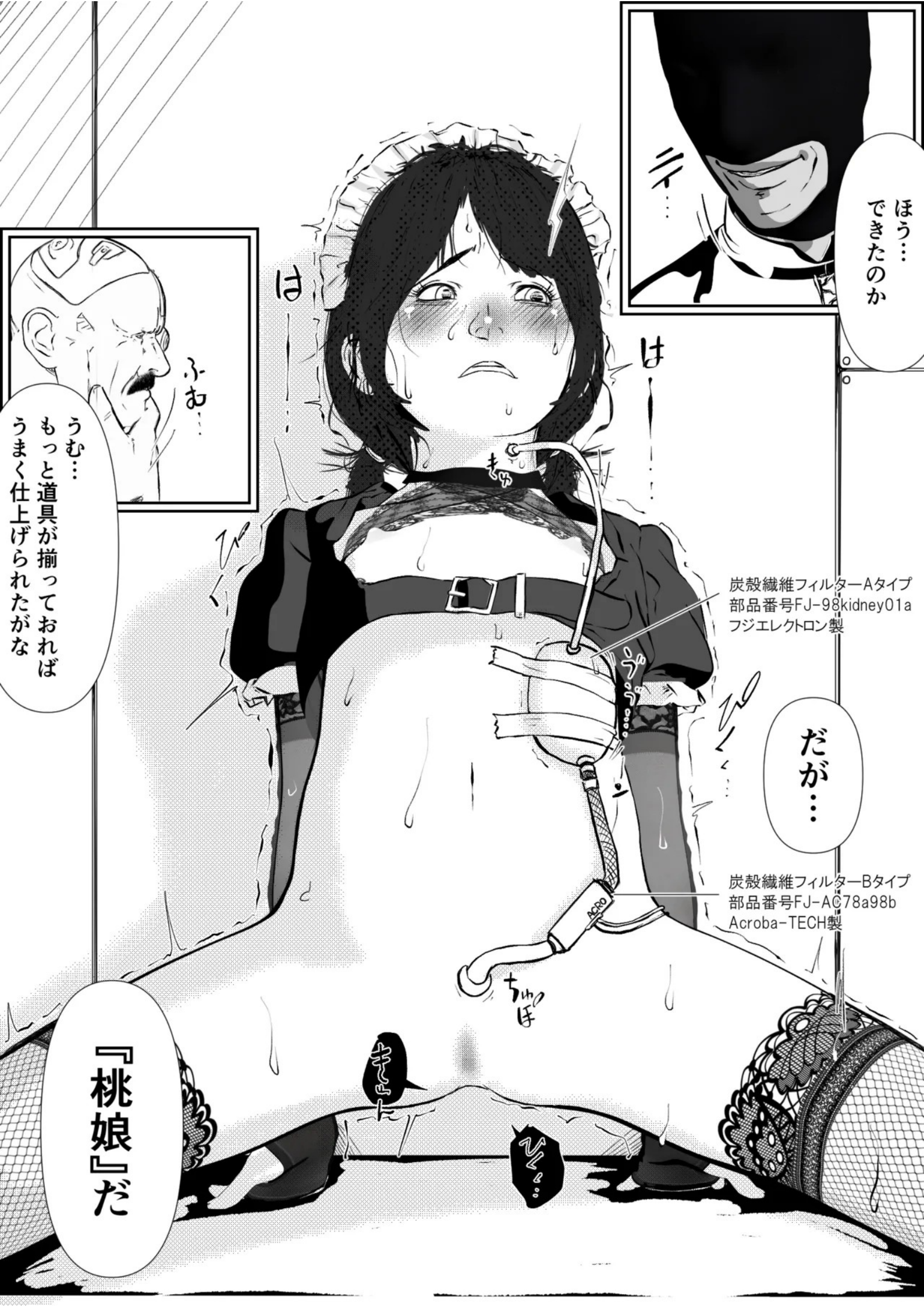
は

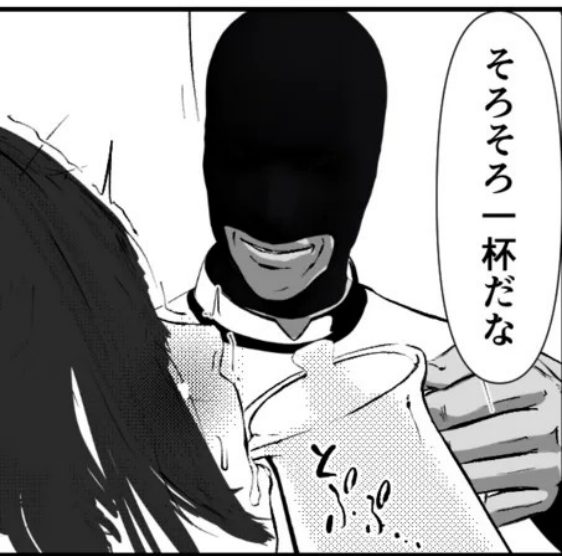
炭殻繊維フィルターAタイプ  
部品番号FJ-98kidney01a  
フジエレクトロン製

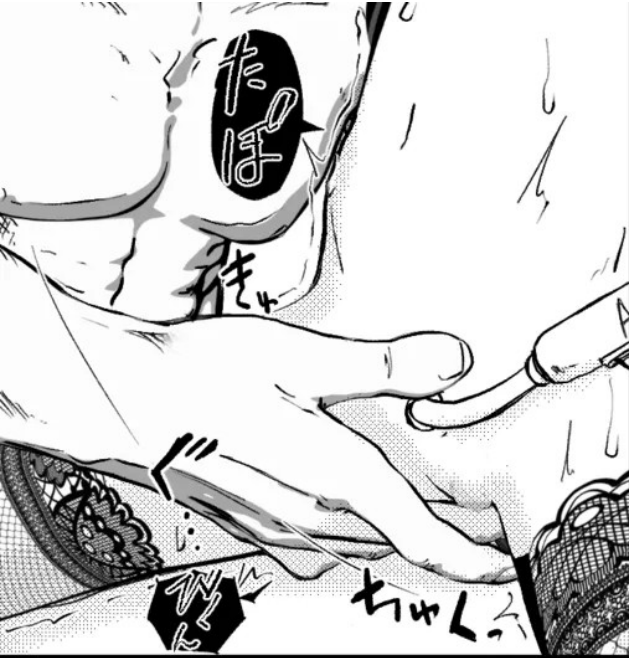
だが…

炭殻繊維フィルターBタイプ  
部品番号FJ-AC78a98b  
Acroba-TECH製

『桃娘』だ







濾過が終わるまで  
まだ出すんじゃないぞ



ここからも...少し  
染み出してきておるな



コハル  
ゲストに失礼だぞ

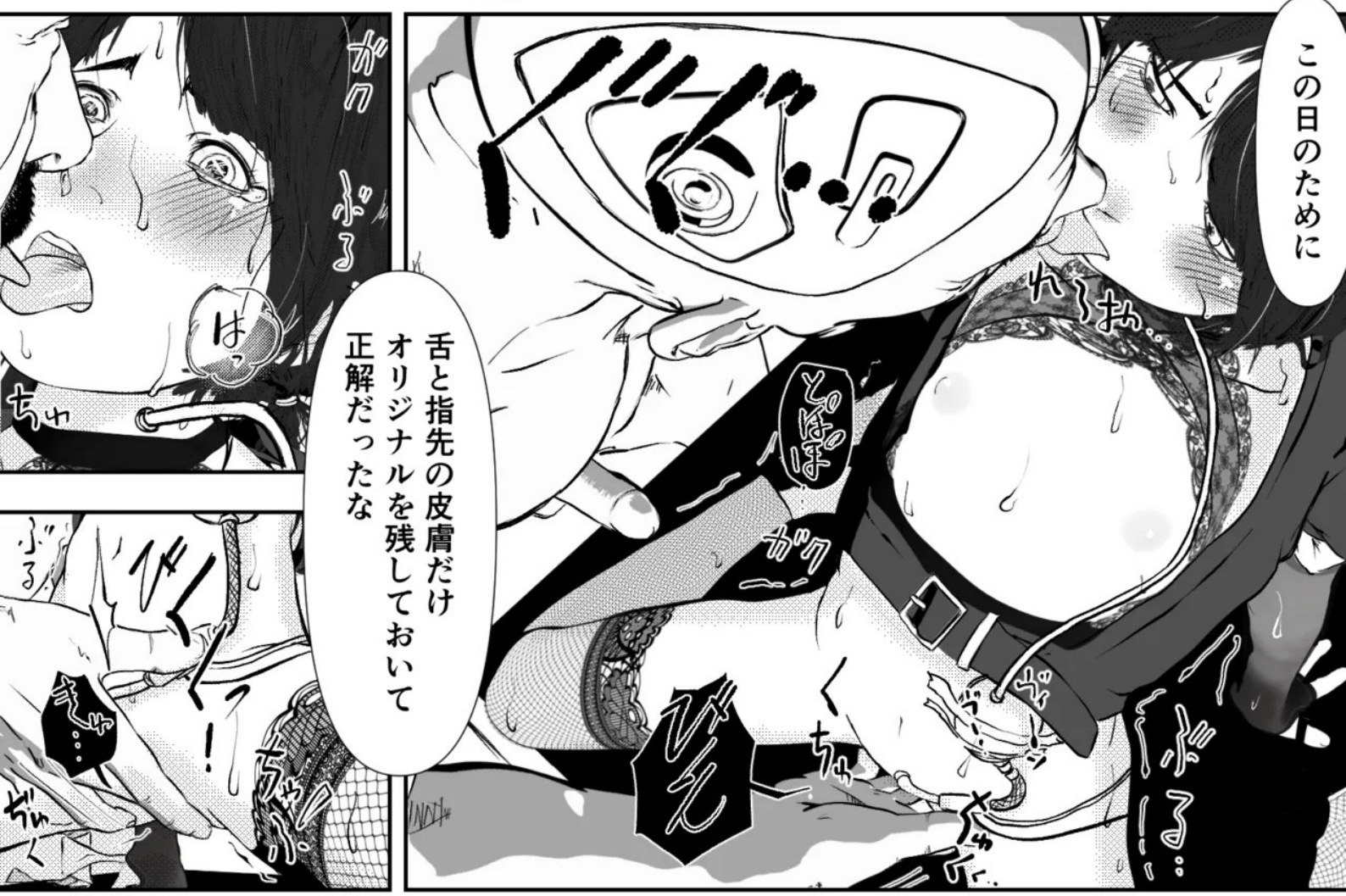




ふふふ…くくく  
最高の感触じゃないか

柔らかすぎず…  
指をハネ返してくる  
この適度な弾力…

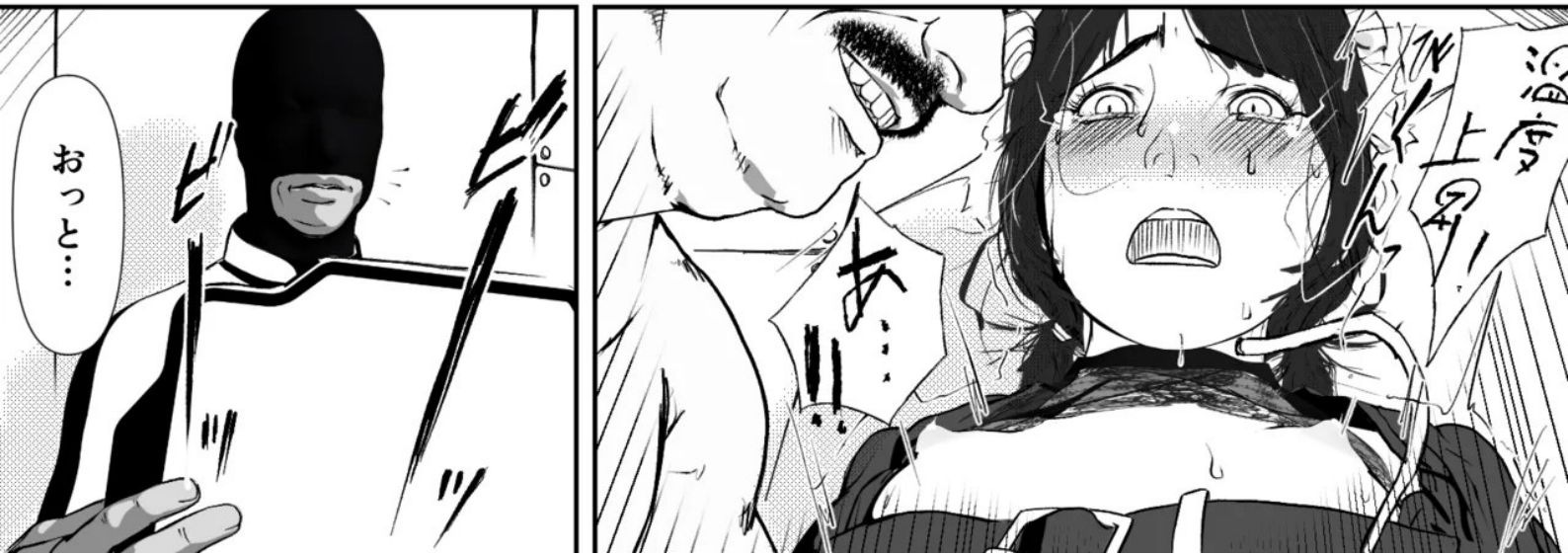
そしてこの  
甘露な味わい



この日のために

舌と指先の皮膚だけ  
オリジナルを残しておいて  
正解だったな

ガク  
ぷる



おっと…

上  
4!







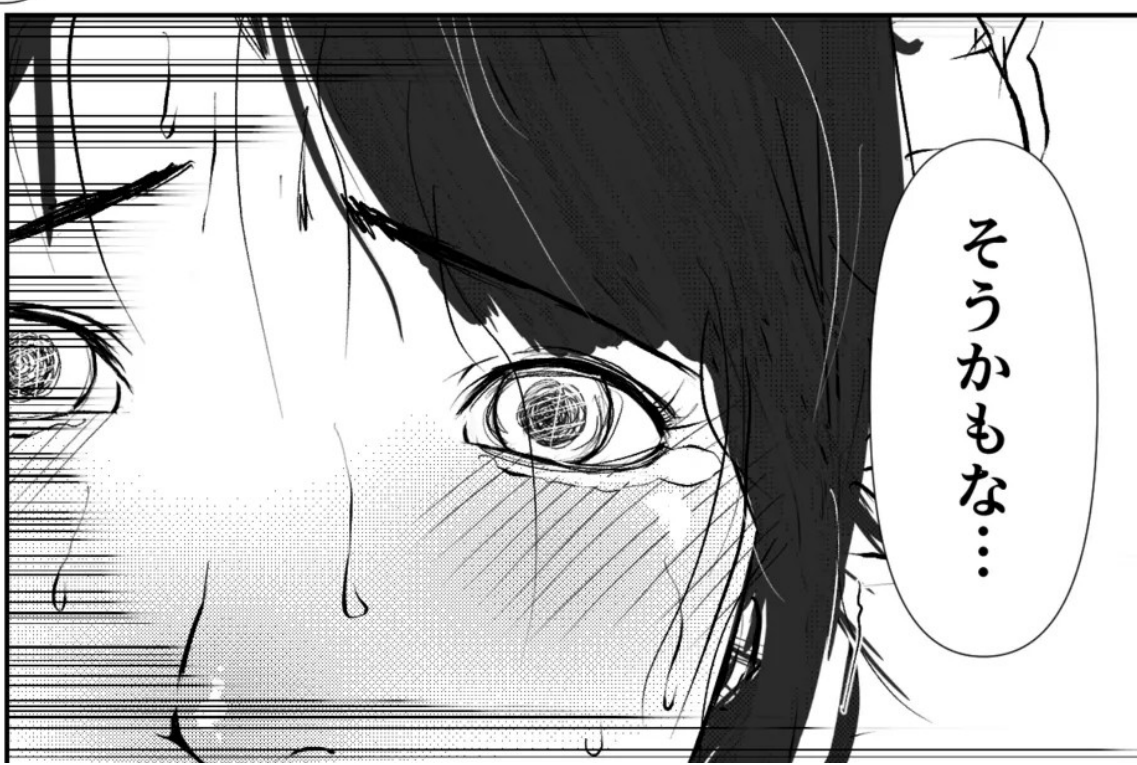


君も一緒にどうかね…  
良いデータが取れるぞ

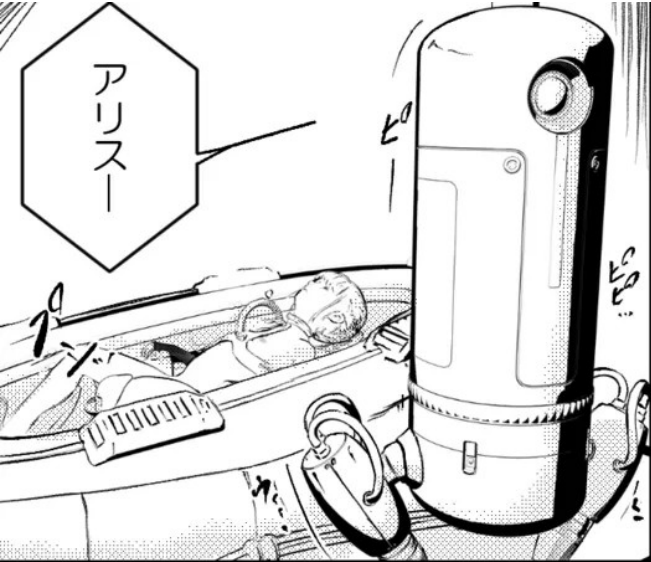


どれ…もう少し  
楽しませてもらうか

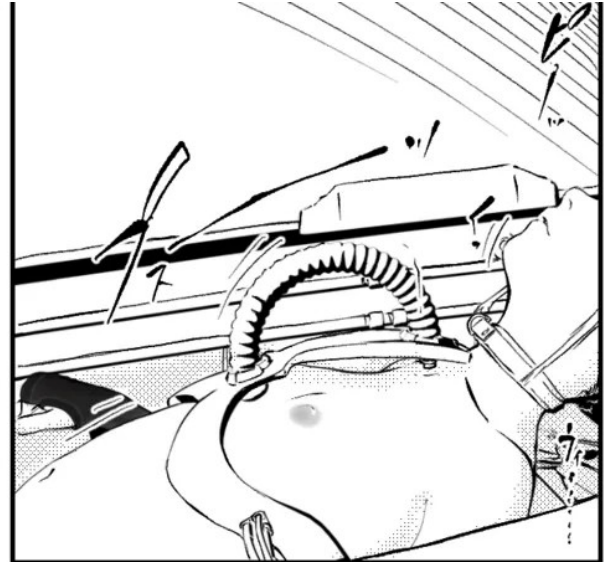
おっ…



そうかもな…



アリスー



アリスー



US-11BF987ガ  
取引サレタ情報ガアリマスー

そう…  
じゃあ、位置データ回して

ムフ

アリスー

To be Continued...

# ○サイボーグ技術と人間社会

20世紀半ばアメリカ合衆国の医学者によって提唱された概念。当時は宇宙開発競争の激化から極地適応のための人体強化をテーマに論じられることが多かった。時を同じくしてSFをテーマにした創作物に登場するようになる。

20世紀後半から機械技術の伸展により架空の存在であったサイボーグは実存の可能性を得る。主に事故などで欠損した四肢などの補完を目的とした義手、義足の中でも皮膚の微弱電位を検知し自在に可動可能な筋電義肢は、後のサイボーグ技術確立の強い基盤となった。

21世紀半ばには駆動技術の進歩、素材革命を経て『機能回復』ではなく『機能強化』目的の義肢交換手術件数が増加しサイボーグは実存の個体として確立した。

22世紀に入るとヒト機能性幹細胞技術革命と合わせり脳髓以外は機械、生体部品にチカン(置換)することが可能となり人類はその平均寿命を大幅に伸ばすことに成功した。

23世紀初頭、最後の課題であった生体適応グラフィエン半導体の超密集積化が成功し脳機能の拡張も達成し、人体で交換できない部位はなくなった。

平均寿命は飛躍的に伸び、人類は『死』を遠い概念とし、文明世界の維持に人口増は必須とはならなくなつた。アンドロイドによる労働の消滅も重なり人類は個人の欲求を最大化することが可能となり最大の繁栄を得ることとなった。

しかし最大の繁栄は大きな問題を孕んでいた。

Name: A  
Age: 65  
Height: 179cm  
Weight: 256kg  
Mech-ratio: 27%

Name: B  
Age: 162  
Height: 189cm  
Weight: 487kg  
Mech-ratio: 83%

## ●人口減少社会

機械化および生体部品置換可能となり寿命を意識しない人類は種の保存本能が退化し、生殖による出生率は、ほぼゼロとなった。現在世界人口は45億人、対してアンドロイドは50億体である。

## ●社会問題

24世紀現在、人類は労働の必要もなく国連から配給される食料もありその生活を全て文化的活動に充てる事が可能となった。私的空間ではあらゆる価値観・倫理観が認められており他者と関係を持つ必要はなくなった。  
『あらゆる摩擦は全てなくなった。摩擦レス社会だ』とは、国連事務総長セス・サンディー・ルーデンスの言葉。

## ●設定資料



# ○24世紀の過ごし方

24世紀現在、アンドロイドが全生産活動を請負い、人類は持ちうるリソースを全て文化的活動に費やすことが可能となった。当初は歓迎された状況ではあったが既に問題は深く進行していた。

国連は2275年『人類労働解放宣言』を布告。人類の生命文化活動の全てを保証することを宣言し食糧、住居、被服を全人類に配給する体制を整えた。

あらゆる労働から解放された人類たちはそれぞれに与えられた時間を謳歌した。当初こそスポーツ、旅行などに時間を費やしたが、映像コンテンツの充実、

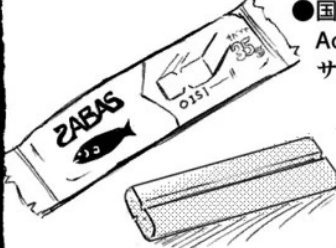
五感シミュレータの技術革新により外出の必要性は極端に低下した。また21世紀以降AI生成コンテンツの膨張によりヒトの一生では消化しきれない物量となっていた。供給され続ける食糧と娯楽に、人類の多くは栄養とコンテンツを消化するだけの存在となった。

23世紀末、生産体制の大規模化と超微細化ナノガラスストレージ技術の確立により超々大規模空間シミュレーションが個人で保有可能となった。五感シミュレータと

組み合わさり多くの人間が個人の仮想空間『インディバース(IndiVerse)』内で時間を消費するようになった。

外出と接触の機会は極端に減少し、摩擦の無い世界が実現したが、同時に出生率も回復不能のレベルにまで低下した。

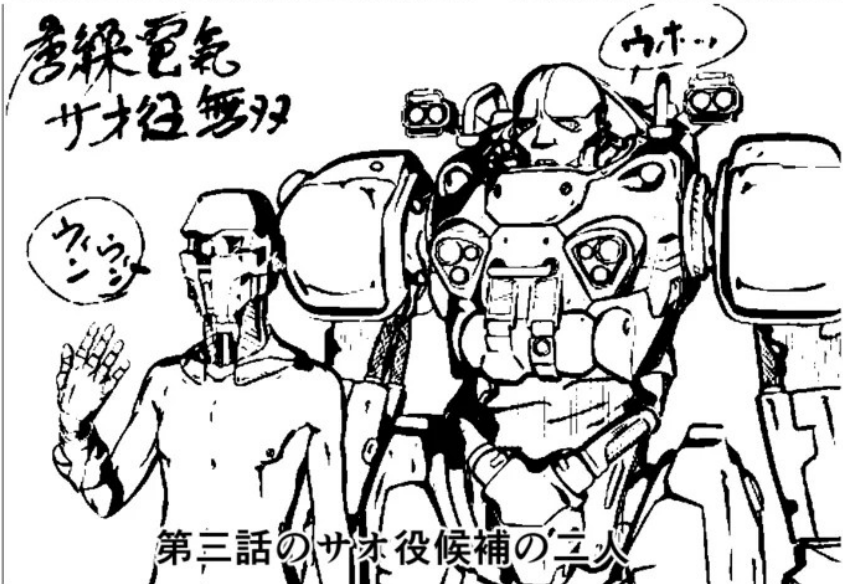
●国連中央管理局支給完全栄養食  
Acroba-tech社製  
サブスプロテインバー



鯖、スマトラオオヒラタなどを主原料とした完全栄養食。「ゆでたジャガイモより少しましな味」「食べられるレンガ」程度の味わいではあるが24世紀現在では咀嚼に合わせ味覚中枢に味覚をシミュレートするためミンナ大満足の味。一本300m! 摩擦がないと射撃もなし。



※24世紀の平均的男性像



第三話のサオ役候補の三人

お世話になっております、マスダ  
|| ロブでございます。  
お買い上げいただきまして、誠に  
ありがとうございます。またご協  
力いただけただけの方々にも感謝いたし  
ます。なんとかえっちな漫画にし  
たかったんですが、どうやらオッ  
サンが多くなってしまうようです。  
第三話ではもっと頑張ります。

2025年三月  
マスダ||ロブ